

職層研修「係長研修」（第6回）

【日時】	令和3年1月13日（水）、19日（火）、26日（火） 9:00～17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	58名
【講師】	<p>社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 西谷 隆行 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏</p>
【研修内容】	<p><目的> 係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルスマネジメントの知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容> (1日目) ① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。 ② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。 ③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。 ④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>(2・3日目) ① 係長の役割 ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルスマネジメントのポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。</p>
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題の成り立ちから歴史、現状まで、非常にわかりやすい講義でした。 ・人権問題について、今までも研修を受けてきましたが、時代の流れに伴い、人権問題の内容も変化していくため、引き続き人権問題について意識していこうと思いました。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで聞いたことのない専門的な法律用語なども講義の中で出てきたので、今後、自分でもさらに勉強していこうと思いました。

【えせ同和行為対応】

- ・実際に対応したことがなかったので、DVDを視聴したことで、具体的にイメージすることができました。

【特別区制度】

- ・特別区の制度について理解していると思っていたが、演習をやってみると自分の言葉できちんと説明することができなかった。テキストを見直すなどし、自分の言葉でも説明できるように勉強していきたいと思いました。

【係長の役割】

- ・部下の指導、育成、メンタルケア等、係長としての大切な役割について、様々な手法を用いた演習を行うことで実践的に学ぶことができました。今後の役に立ちそうです。
- ・コーチングについてなど様々な手法を学びましたが、まずは係長として部下から信頼されることが大切だと感じました。